

広報

# まっだい

1986/

4月

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 昭和61年4月24日 第317号

豊作を願って

すじまき……

《人口の動き》 男2,960(-45) 女2,975(-64) 計5,935(-109) 世帯数1,650(-13)  
3月末日現在 出生7 死亡6 転入24 転出134

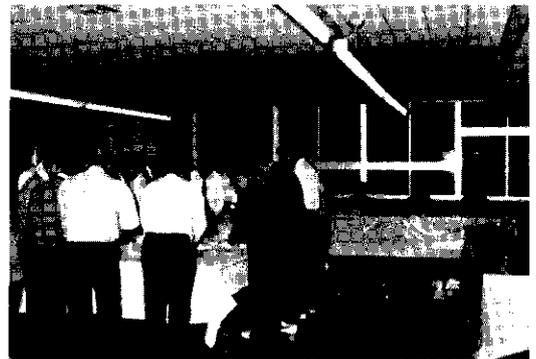
# 知事選挙結果

## 投票率は 八九・三四パーセント

四月二〇日に行われた新潟県知事選挙の松代町での開票結果及び投票区別投票率は次のとおりです。

◇松代町での開票結果

真貝 秀二 八四票  
君 健男 二二二八票  
諸里 正典 一、五一五票  
今井 敬弥 一八八票  
無効票 三八票



投票区	部 落 名	有権者数	投票者数	投票率
1	松 代、小 屋 丸	1,006	900	89.46%
2	蓬 平	191	175	91.62
3	会 沢、清 水	155	141	90.97
4	桐 山	45	45	100.00
5	池 尻	47	42	89.36
6	池 之 畑	55	53	96.36
7	下 山	75	69	92.00
8	東 山、海 老	95	80	84.21
9	孟 地	72	63	87.50
10	滝 沢	44	42	95.45
11	田 野 倉、仙 納	222	196	88.29
12	蒲 生	268	240	89.55
13	儀 明	242	214	88.43
14	寺 田、諏 訪 峠	102	91	89.22
15	助 平	83	72	86.75
16	小 貫	16	15	93.75
17	菅 刈、田 沢	184	159	86.41
18	福 島	91	77	84.62
19	奈 良 立、室 野	448	385	85.94
20	木 和 田 原	91	83	91.21
21	峠	111	98	88.29
22	千 年	220	203	92.27
23	小荒戸、太平、松代(新田)	293	270	92.15
24	犬 伏	215	186	86.51
25	中 子、苧 島	103	95	92.23
26	名 平	27	26	96.30
27	濁	15	14	93.33
28	竹 所	62	54	87.10
29	片 桐 山	26	25	96.15
計		4,604	4,113	89.34%

## 収入役に樋口芳男氏

### 選任される

柳公治収入役の退職に伴い、三月の定例会で樋口芳男氏(前総務課長)が選任されました。



## 「淡い緑」町の木ブナ林

### 写真コンクール開催のご案内

ブナの木を撮ろう!

残雪に映える淡い緑のブナの新芽がそよ風をさそう、雪深い里にブナの緑、感動的な季節がやってきました。雪国ならではの美しい景観は心に安らぎを与えてくれます。

このブナ林も次々に切られて数少なくなっています。

災害防止や野鳥類にとっても重要な生息環境というべき「ブナ林」を保護しよう。

#### ◎日時

五月三十一日(土)～六月一日(日)  
午前九時～午後四時

#### ◎会場

松代町総合センター

#### ◎出品資格

町内に住民登録または、勤務

地を有する高校生以上の方。

#### ◎出品基準

○未発表のものに限る。

(一人何枚でも可)

○白黒・カラーともサイズは四つ切り(二五cm×三〇cm)を原則としますが、組写真等の場合はE版でも可

◎作品は五月二三日(金)までに総合センターへお願いいたします。

#### ◎受賞

優秀作品には賞状及び賞品を授与します。

出品者全員の方に粗品を贈呈します。

#### ◎写真の説明

撮影場所(大字)○字○と記入。撮影者氏名、住所、簡単な説明を付記して下さい。

# 活躍する食推さん

健康体力シリーズ

13



総合体育館  
60年7月15日~22日

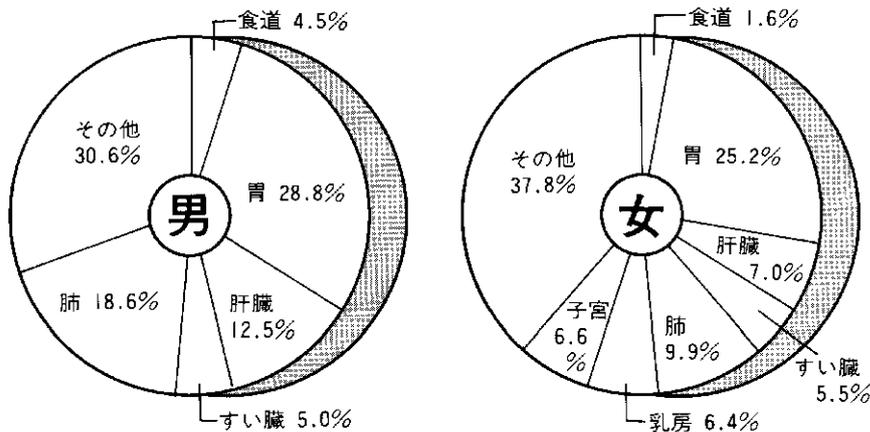
最近では「一日塩分は何g以下に抑えたらいいでしょう」とたずねると、即、「10g以下」という答えがもどってくるようになりました。塩分のとり過ぎがよくないとか、バランスのとれた食事をすることが大切だとかいうことは、今では誰でもよく知っていることです。又、以前に比べ食生活もかなり改善されてきましたし、各々でも気をつけるようになってきました。

「10年ひとむかし」とも言いますが、10年程前では「みそ汁一日何杯のんでますか?」とたずねると「9杯」という答えもよく聞かれたものですが、最近では「9杯」という答えはあまり聞かなくなりました。

こうした食生活の改善にひと役かたつてくれ、大きな原動力となってきたのが食生活改善推進員(以後食推と略す)のみなさんの活動です。食推さんは年間8回の栄養教室を修了し、専門的知識をもって活動しています。現在、松代町で活躍している食推さんは59人で、各々の部落でその時々に応じた食生活の改善のための伝達講習会を開いたり、町での事業に参加したりその活動は多岐に及んでいます。今では部落になくはならない存在となっています。

## がんの部位別死亡割合

昭和59年 厚生省「人口動態統計」より



総数 107,153人

総数 75,082人

がんの種類によって、は減つてきているものもあり、しかし、全体としてがんによる死亡は増え続けています。がんの中では男女とも胃がんがもっとも多く、次いで肺がん、三番目が男性では肝臓が、女性が子宮がんと男女差が出ています。胃がん死亡率の高さは世界一です。

## がん三二知識

食生活が私達の生活の中で最も重要な部分を占めていることは言うまでもありません。自分たちの生活の中で、常に取りかかると共に、食推さんと共に、これからはがんばりたいたいものです。

# 六十年 松代高校進路状況

去る三月一日一一名の松代高校生が学生、社会人として旅立ちました。今年の学年は、丙午の翌年生まれということで、全国的にみても高校生の人口が多く、当初から進学、就職の競争率が高まり激戦になることが予想されました。しかし、彼らは数々の困難を乗り越え、それぞれの志す道に進んで行きました。今年度の進路状況は次のようになりました。

## (1) 進学

### ◎ 大学、短大

今年の大学受験の傾向を振り返ると、現役よりも浪人有利といった感が強いと思います。浪人はほぼ全員が合格を決めたのに対し、現役は合格率五五％と振いませんでした。共通一次の結果などをみても現、浪それほど差がみとめられませんが、受験専門の勉強、受験情報の収集、研究などをしている浪人がわずかに有利であったと考えら

れます。現役受験生にとっては丙午の翌年生まれ学生の生徒数増や受験勉強と学校の勉強の両立という問題が影響して合格率不振に終わったと考えられます。なお、受験生の増加はここ数年続くと予想されるこの六年度からの国公立大学入試制度変更など大学受験は今後多くの問題をかかえています。しかし、子供達の将来の可能性を著しく拡大する大学進学の指導は我々としても積極的に取りこんでゆきたいと思えます。

### △ 合格大学

新潟大学、山形大学、都留文科大学、日本体育大学、順天堂大学、専修大学、亜細亜大学、大東文化大学、東京農業大学、玉川大学、近畿大学、中央大学、東海大学、東洋大学、法政大学

明星大学、明治大学、早稲田大学、東京電機大学、岡崎女子短期大学、飯田女子短期大学、大垣女子短期大学、東洋女子短期大学、玉川学園女子短期大学、相模女子短期大学

### ◎ 専修学校、専門学校

専修、専門学校は高卒では得られない様々の資格を取得することができ、入学も容易なのでわりと簡単な気持ちで進学希望する傾向があると思います。しかしその実態は不明瞭で中途退学者が多数であり、学校案内と異なる設備や内容であることが多いようです。実際に専修、専門学校へ進学する場合には事前の調査を入念に行うとともに目的をもって根気よくとりくむ心構えが必要です。

### △ 合格専修、専門学校

日本大学医学部附属専門看護学校、国立相模原病院附属看護学校、国立西崎中央病院附属看護学校、順天堂看護専門学校、神奈川県立平塚看護専門学校、国立豊橋病院附属看護学校、倭成看護専門学校、東京都立板橋看護専門学校、厚生連中央看護専門学校、国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院、国立厚労療養所附属リハビリテーション学院、信愛看護専門学校、東京工学院、東京ビジネス

## 2. 民間企業 業種別

業種 / 性別	男	女	計
専門、事務	3	15	18
サービス、販売	12	16	28
製造	7	6	13
計	22	37	59

## (2) 就職

### ◎ 公務員

スカレッジ、魚沼高等職業訓練校・中央工学院、読売東京理工専門学校、日本自動車整備専門学校、東京会計専門学校、名古屋デジタニ衛生士学院、日本ビジネス専門学校、代々木アニメーション学院、東京デザイン学院、日本電子専門学校、日本工学院、窪田理容美容専門学校、日本情報処理専門学校、東京ビジネスコンピューター学院、北里大学附属保健衛生専門学校、上智社会福祉専門学校

年々公務員志向が高まっている

## 1. 進路別 ( )内は就職進学者数

進路 / 性別		男	女	計
進学	4年制大学	7	0	7
	短期大学	0	2(3)	2(3)
	専修大学	14	12(2)	26(1)
高等職業訓練校		1	0	1
就職	民間企業	22	37	59
	公務員	4	2	6
家事・家業		0	0	0
未定		0	0	0
浪人		9	1	10
計		57	54	111

3. 就職地域別 (公務員も含む)

地域 / 性別	男	女	計	
県内	松代町	1	0	1
	上越市	2	0	2
	長岡市	0	1	1
	柏崎市	1	0	1
	計	4	1	5
県外	東京都	18	29	47
	神奈川県	2	2	4
	埼玉県	1	1	2
	群馬県	0	1	1
	岐阜県	0	3	3
	静岡県	0	1	1
	愛知県	1	1	2
計	22	38	60	
合計	26	39	65	

ます。これまで高卒者が受験していた職種に大卒者が流れてくる位ですので高卒での合格は大変難しい状況です。公務員を志すものは、大学受験者と同程度の実力と努力が要求されます。国家公務員二名、地方公務員一名、自衛隊三名

◎民間企業

今年度の民間就職は例年になく厳しいものでした。採用内定までの受験回数が平均一、四回と振わず、第一志望の企業に就職できたものは全体の七〇%にとどまっています。このことは、ここ数年の経済不況、OA化による人員削減、丙午の

翌年生まれの高卒者増など様々の悪条件が原因と考えられます。民間企業のうち、特に事務職は年々就職が難しくなっています。今後、事務職を希望するものは職場のOA化や大卒、短大卒者との競争などによる高卒募集人数の減少という厳しい現実を受けとめ、日頃の学習を怠らず、明かると積極的な性格形成に努めなければなりません。なお、地元就職については、県内企業(弱電関係など)の不況や交通手段の不備等が影響して、今年も不振でした。松代、上中越地区で五名の就職がまっています。



家族で話し合おう 交通安全・バイク編

バイクは小回りがきき、どこにでも行けるなどの便利さから、多くの人に利用されています。特に50cc以下のバイクは若者からお年寄りまで幅広く親しまれ、買い物やちょっとした外出の時、自転車代わりに使われています。保有台数も毎年100万台近く増え続け、全国で1,400万台(昭和60年)にもなりました。同時に、事故も多く発生しています。

そこで気をつけていただきたいのが、いくら自転車代わりにバイクを使っても「交通ルールとバイクに乗るときの心がまえを忘れない」ということです。

まずは、乗車するときの姿勢について考えてみましょう。

バイクに乗るときは、ただなんとなくシートにすわるだけではいけません。腰の位置は

正しい姿勢で安全運転



どこがいいのか、目はどこを見るか、ひじやひざの力の入れかたは……など、注意する点はたくさんあります。図で示した点をもう一度確認して安全運転を心がけましょう。

月下氷人

多くの新しいカップルが生まれる春の結婚シーズン。新郎新婦の仲をとりもつ人「仲人」は「なかびと」が「なこうど」に変化した言葉です。

仲人には「月下氷人」という古称がありますが、これは中国の縁結びの神「月下老」と「氷上人」を、一つに結びつけたものでした。

「氷上人」は昔の令狐策という人が見た夢にまつわる故事。氷の上で氷下の人と話をした夢を見たのですが、占いの名人索統は「陽を意味する氷上と、陰を意味する氷下の結びつきは、男女の仲介者になる予兆」と判断しました。

また「月下老」は、唐の韋固という青年が旅行中に出会った不思議な老人のこと。月の光で書物を読んでいたその老人が持っていた袋には、結婚する男女の足をつなぐ赤い縄が入っていて、韋固に将来妻となるはずの女性の名前を覚えてくれたのです。

結婚する二人はもともと赤い糸で結ばれていたのだという俗信は、この話からきたのかもしれません。



# 「明日を拓く自然と人のふれあいの町」

## 「松代町総合計画」改訂終わる

### 町の木 プナ

今回の総合計画改訂にあたり、昨年七月松代町の全世帯一、六七九世帯と松代高校生、(三年生)全員一一一名の方に総合計画に関するアンケートをお願いしました。(回収率〓七五、六%)

なお、昨年五月三日の成人式の会場で、町の将来や結婚観についてアンケートをお願いし、(回収率〓八六、八%) 今回の改訂の参考にさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

策定した総合計画を要約しますと、次のようになります。

- ① 現計画を更に継承すること。
- ② ふるさと回帰志向をとらえたこと。
- ③ 産業基礎を確立すること、特に雇用の場の確保の対

- 策について。
- ④ 北越北線の受け入れ体制を図ること。
  - ⑤ 新しい観光の振興を図ること。
  - ⑥ 地域開発をすすめること。
  - ⑦ 教育の充実と文化の町づくりを進めること。
  - ⑧ 学生の訪れる町づくりを進めること。
  - ⑨ 心のやすらぎや、うるおいを求め施策を進めること。

松代町は、昭和四五年度に総合計画を策定し、行政の基本的方策を樹立して以来、昭和五〇年度に第二次、昭和五五年度に第三次の改定を行い、計画に基づいて総合的かつ重点的に施策を推進してきました。

今回、昭和七〇年代に向けて、「明日を拓く自然と人のふれあいの町」を目標に、現総合計画を更に拡大して第四次を策定しました。

松代町をとりまく情勢は日ごましく開発整備がなされ、昭和六〇年三月には上越新幹線の上野駅乗り入れ、同年一〇月には関越自動車道の全面開通が実現された。交通基盤の確立により真に日本海時代が到来しつつある。

このような松代町の現状を踏えて第四次総合計画は、躍進す

る松代町を建設するため、新たな視点に立つて策定にする。今町に望まれている諸条件を考慮しつつ、過疎化に終止符を打ち、明かるく豊かな町づくりを展開し、学卒後いったん大都会へ進んだ若い労働力が過密都市から脱出し、生まれ故郷に戻ろうとする「Uターン志向」を捉えて、後継者の育成と雇用の確保を図り、三世代が定住できる農村文化社会の実現を図るものとする。

このため諸施策の基本的方向を明らかにし、ここに現総合計画の基本精神と策定以来現在に至るまでの成果を継承しながら、将来の展望に立つて第四次計画を策定するものとする。

(総合計画の改訂の趣旨より)  
今回から、シリーズで総合計画の内容を紹介します。

#### 基本構想

一、松代町の未来像に向かつて  
松代町は豪雪、急傾斜地、交通不便などの劣悪な自然条件に合わせ、高度経済成長により農業が他の産業と比較し、所得水準に大きな較差を生じてきたため後継者がなくなり、数少ない後継者にも嫁不足が深刻となり、いきおい生活の基盤を都会に求める傾向が強まった。  
しかしながら長期的低成長時

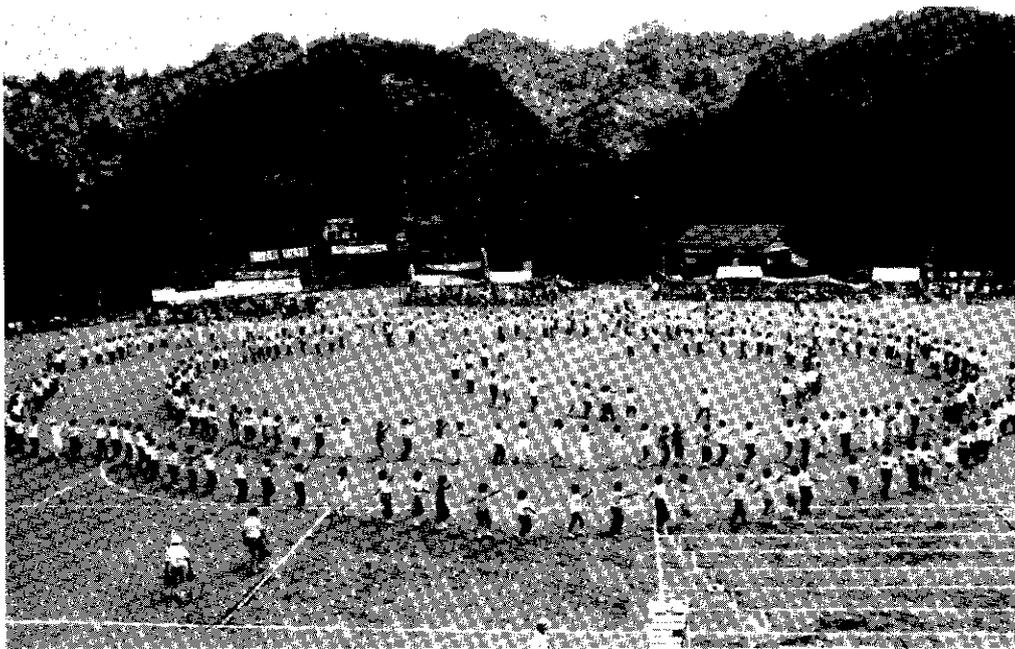
6 ページより

代に突入するとともに、全国的ふるさと回帰ムードが強まり、社会は地方の時代へと向かいつつある。

このような社会状況を踏まえ、農業を中心に据えその基盤を固るとともに、意欲ある後継者へ農地の集約化と生産組織の拡充

を進める一方、農外所得の拡大策として積極的に企業の誘致を図り、生活の基盤の安定を求め

る。また首都圏から二時間圏域に入る日も間近となり、早稲田大学の施設誘致や観光面において一条件が整うことになること



から観光資源の発掘、整備に取り組むものである。

過去いく度かの試練をのりこえてきた英知、忍耐、協調性をもって町民とともに住みよい松代町に向かって、若者たちが定住しここに根を張るような計画と施策に意欲的に取り組む一方、国県に対しても更に強力な振興策を要望していくこととする。

二、まちの柱に、実りある産業

まず、人口の減少をくい止めることが急務であり、人口構成のひょうたん型のくびれ部分、極端に少ない青年層の増加を図ることが急務である。そこで若者が定着、Uターンできる魅力ある農業と企業の進出が図られなければならない。

とりわけ農業については長年の生産調整と基盤整備のおくれから低迷の時代が続いている。国際的な食糧危機という不安が高まりつつあり、かつ食糧の大部分を輸入によっている現状と生命光学の進歩による農作物栽培の技術革新等を考えるとき、これから、脚光浴びる分野となる。

農業については、数年来続けてきた大規模圃場整備がほぼ成熟段階となり、残った中小団地の整備を図ることとなる。団地の集約化とともに、生産



コストの低減のため生産組織の拡充を図ってきたが、更に一層の組織育成に力点を置く。

これからの農業の形態としては「米+α」の形が考えられ、専業においては米+和牛、最近取り組みがなされている米+企業勤務という形態が考えられる。省力化による余剰労働力とUターン青年が重工業的企業の進出のためのソフト面の受け皿となる。

幸い企業の進出のための立地条件の一つである輸送コスト、本社なり親会社との時間的な距離の短縮という面においては解

決されようとしている。ハード面の受け皿として企業が進出しやすい場づくりという行き届いた工場団地の造成に努める。

所得の得られる腰の強い企業を誘致することにより、家内工業、内職等の発生もあり所得拡大の一助となるだろう。また、町内に古くから操業している経済変動に強い地場産業の育成を図っていく。

さらに付加価値の高い特産品の開発を推進し、第三セクター方式の特色ある地場産業をすすめる。

(以下次号へ)

# 「元気がでる空気」



松代町空手教室代表 相沢 勇

松代に空手教室が開設されてから早くも4年目になりました。

開設当初は数名しか集まらず誰も練習にこない時もあり一抹の不安にかられたこともありましたが、関係者の暖かいご支援のおかげで今年は二五名にも増え、ようやく軌道に乗ろうとしています。

少年部の練習は週二回、夜六時半から八時半までの二時間で。よほど空手に興味があるのか休む子はあまりいません。

練習はかなり厳しくやらせ、時には愛のムチがとぶこともありますが、その厳しさがまたいいのか面白くてしょうがないようです。願わくば、今のうちに空手の楽しさ、面白さをしっかりと心に刻みつけ、やめずにずっと続けていき、国体くらい出場してほしいと思いますし、またそうさせたい。国体でのあの感動を味わってやりたいと思います。練習は「おねがいします」の元気な挨拶で始まります。

まずは基本体力づくり、ゲーム要素をとり入れ遊びながらの体力づくりですが、人気があるのはジャンケンして負けた方がおぶって往復するゲームです。適度に暖まったら次はつらい基本練習、同じ技を何回もくり返す反復練習です。突き、打ち

けり、と一技二〇〇回、しかも思いっきりやらせますのでその運動量は相当なものです。一寸苦痛のようですが、この基本練習なくして上達する道はありません。「元気出せ、もつと気合いを入れろ」と励ましながら続けさせるのですが「鬼のような先生」と思っているかもしれせん。

玉の汗が流れる頃になると気合いも鋭く、目つきも変り別人のようになってきます。まっ赤に火照らせ必死になって頑張っている姿はとてたくましく見え、この子たちにとって非行など全く関係なく真つすぐに育っていくことと思います。

次は型練習、おどりにならないうよう意識を集中させ、気迫をこめさせ型が極まるまで何回でもやらせます。

この型は小学一年生の子には一寸難しいようです。「左足前に出して」というと右足を出すといった具合ですから教えるにも根気がいられます。

「空手に先手なし」の空手道精神もこの型練習で理解できるようになりませんが今は無理、練習を積み重ねていくことよって「先手なしはまた後手もなし」の自他防衛、人間尊重の平和精神、といった深い意味をいつか

理解し、「正義なき力」とならぬよう心と技を磨き、人思いやるやさしさをもった真の強者になってほしいと思います。

次は約束組手、型の中の技を互いに確認し合い、意識化から無意識化の反射的運動を旨とするのです。好奇心が刺激されてか一番喜ぶのもこの練習ですがややもするとふざける子も、そんな時、五、六級の子たちが叱ってくれるようになり、先輩としての白覚をもってくれたように喜んでいきます。練習中は互いの「おねがいします」「ありがとうございました」の礼を徹底させます。日常でもこのことを習慣づけてほしいと思います。

最後の自由組手は黙っていてもみな真剣になります。勝負が始まれば誰も力を貸してくれません。勇気を出して向っていくしかないのです。勝負はまず自分には勝つこと、そして「勝つ」はガマンする、努力する、やり貫くことです。

厳しい空手道を通じ、自分に負けない強い意志と勇気を養い心身ともにたくましく育ってほしいと思います。

夜八時半、エネルギーを爆発させたこちよさで満足そうに帰っていきます。  
みんな黒帯めざしガンバレ!!



# 「三条ワラジの仲間」

峠・牧田幸雄宅で「ワラジ」づくりをする人達

牧田幸雄さん宅（峠・屋号杉原）に集まって「ワラジ」造りをしているみなさんを紹介します。

牧田さん宅には四人ほどの人が車座になって作業をしていた。ワラジ造りを始めたのは何時頃ですか。

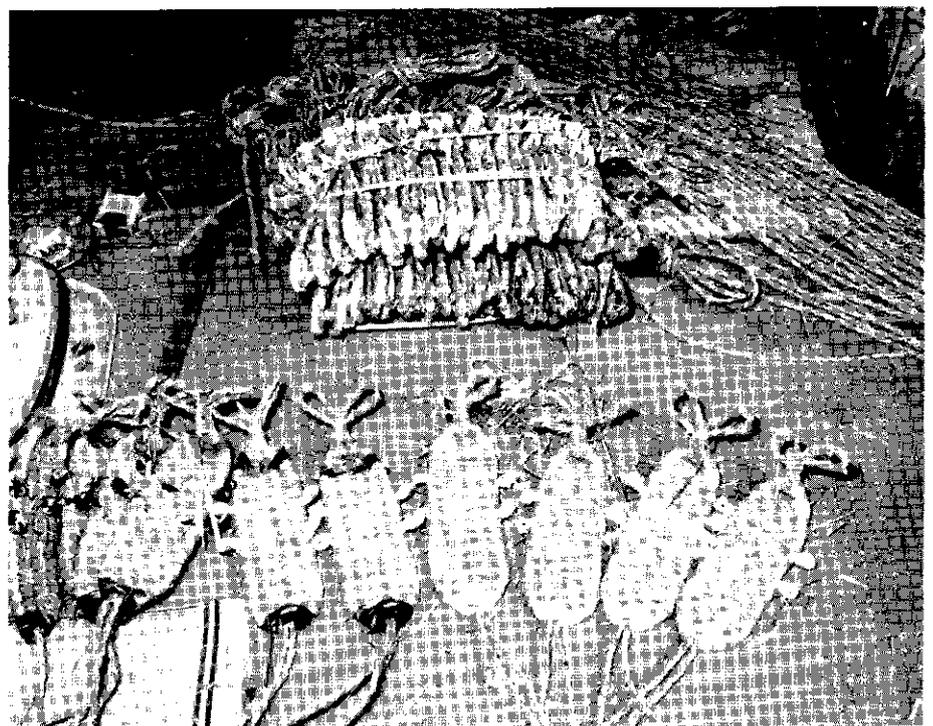
『ノメシ』という道具（ワラジを造る道具）に記入されているのを確認しながら、五十六年ですと柱口のおじいちゃんはいった。

毎年一月上旬になると、薬すぐりなどの準備が始まり、中旬から、四月下旬まで作業はつづく。二、五〇〇足ほどの「ワラジ」ができあがる。

三条ワラジの仲間、峠部落を始め、竹所、濁、木和田原、旧奴奈川地区で二、三名の人達が製造にあたっている。

二、八cmもある大きい「ワラジ」は川釣り、磯釣り、登山などクツの下にはいて、すべり止めの役目をするものである。普通のワラジと違うところは、大きいこと、始めと中ほどと、終わりに布を入れて造ることである。一年生で、日に三・三足、普通の人で五・六足出来るでしょうと牧田大松さんは話される。

朝九時過ぎに杉原に集まり、夕方四時頃まで作業はつづく。



28cmの大きなワラジ

材料の藁は最近コンバインなどの普及で確保が難しく、手刈や自然乾燥をしなければならぬので大変だと矢沢スジさんはいう。各自、一〇束の藁を用意する。家族みんなの協力が必須である。一足に一・六把の藁が使用される。クツの下にはくということで、ヒモ（縄）が八mも必要である。

相撲の時期は、相撲を見、昔

話をし、カラオケ大会や浪花節、俳句の会になるときもある。

集まって仕事をしているとストレス解消にもなり、家庭が円満ですと皆さんは話す。

三〇分ほど仕事場で話を聞かせてもらった後、お茶の時間となった。先ほどの話に一段と花が咲いた。

牧田さん宅を出ると、春の使者つばめが飛んでいた。

# 走れ！われらの北越北線

## 北越北線について

北越北線シリーズ④

斉藤亮一君(松代中学校三年生)

僕は、「北越北線」という言葉は、小学校のころから知っていました。松代に鉄道が走るということも、聞いたことがありました。そして、何年前に、工事が中止になったと聞いて、すっかりしたこともありました。そのころはまだ北越北線が、どこを通るのか、どんな役目を

果たすのか、考えたこともありませんでした。中止と聞いてがっかりしたのも、周囲の人達の話や耳にして、何となくという感じでした。そしていつの間にか北越北線のことも忘れかけていた昨年、工事が再開されたこと聞き、僕は、とても嬉しく思いました。そして、新聞などにも取り上げられ、周囲の人達の話にもなるようになって、松代における北越北線の重要さが理解できるようになりました。まず、輸送経路ができるということと、松代に工場ができる可能性があることです。現在、僕の父は出稼ぎに出ているが、松代に働く場所ができれば、一年中家に居られるということになり、僕たち家族にはとても嬉しいことです。

もう一つは、交通の便が良くなるということです。今、太平洋と田沢間で、大きな地すべりが発生して、交通止めになっています。もっと早く、北越北線が、完成していたとしたら、その場所が不通になったとしても、そんなに大きな被害はなかったと思います。それに、北越北線が、できると、十日町、上越などの市に近くなり、通勤が可能になります。今は冬場も交通の便が良くなり、昔ほどでは

ないにしても、かなり期間、松代にとじ込めた生活になってしまいます。しかし、北越北線だったら、乗り変えも少しし、今よりずっと楽に、速く動くことができると思います。いつでも、どこへでも動けるといふことは、住んでいる人の気持を明るくすると思います。

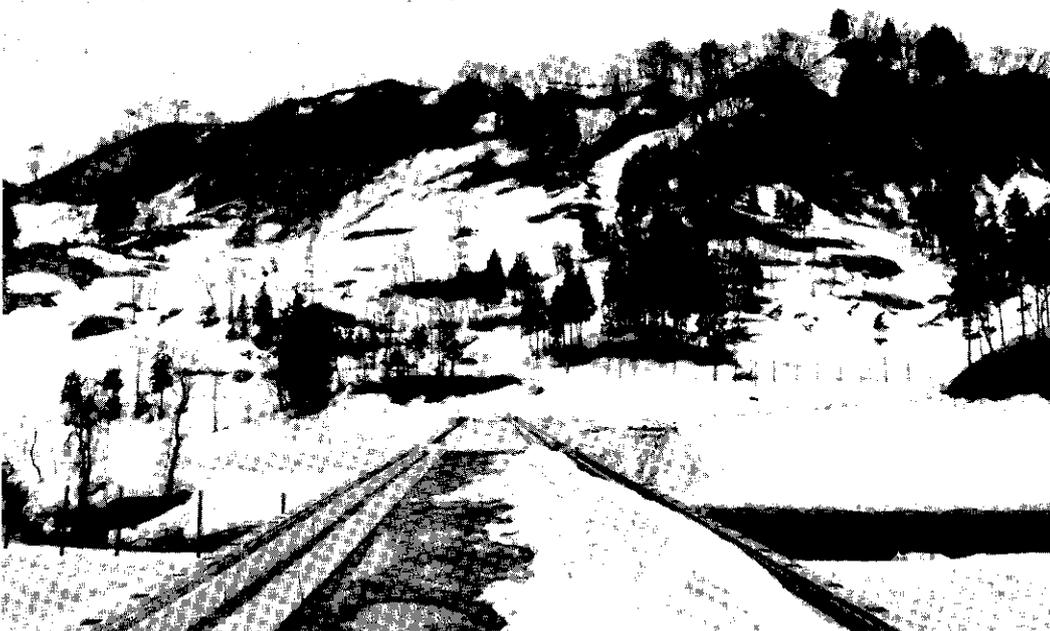
また、松代町の過疎化をとめる役目を果たすのではないかと、いう期待も持てます。松代高校の卒業生のうち就職希望も多いと思うが、その人達のほとんどは東京、大阪などの大都市に働きに行くと思っています。

松代に工場が増えれば、そこで働くことができるということだし、高校卒業生が松代に残れば、町が活気づくと思います。

僕の考えたことは、この三つだけだけれど、「北越北線」が、完成すれば、もっとたくさんのお恩恵が出てくると思います。そして僕たちの生活のなかで重要な、役割を果たすことはまちがいなことです。

一日も早く完成を待っています。

## 第二田沢トンネル発注される！



澁海川高架橋(小荒戸)より田沢第二トンネルをのぞむ

第二田沢トンネル西工区(延長一、九二〇m)の約一、〇〇〇mが三月三十一日発注された。○mが三月三十一日発注された。○mが三月三十一日発注された。○mが三月三十一日発注された。

難工事の鍋立山トンネル、残り六四五mのうち五〇mの掘削となっている(四月一七日現在一日、一・五mのペース)工事発注の増のため五、六月には、三、四名の職員の増員がされる。



四月から残雪の上を這う虫を追って動物班の担当の先生が来町しています。

雪の割れ目の植物を探す先生方も同じです。これらの分野の先生方はそれぞれ、これから松代の四季を追って訪れて参ります。

いずれ自然篇の先生方の調査状況もお知らせできると思いますが近づいてきました。

さて、松茸神社の七ツまいりがそれで、文化財担当の関谷友一郎(松代の家持屋)さんをお願いして、松茸神社々殿にかかげられている。奉納四季発句一百吟の献額について、原稿をお願いしました。

お読みになって関心をお持ちの方は祭日には、再度松茸山へお登りねがいたいと思います。

町史編纂室 関谷哲郎  
松茸神社の献額

「四季発句百吟」によせて

関谷友一郎

「三日月の角にかかるや岡の鹿」これは松茸神社に奉納された「四季発句百吟」献額の劈

頭を飾る句で、作者は「北越雪譜」で有名な鈴木牧之です。

昔は、家と家の縁組みがならわしで、各地の知識人や実力者間の縁組みが盛んに行われることにより、そこに強力な人脈が形成されると同時に、この人脈がそのまま情報収集の強靱なネットワークにもなっていました。

俳諧に長じ、各地の地誌に詳しい牧之もまた、血縁・地縁、人との出会い・コネ等に異常な関心を寄せる一人でした。その牧之の三人目の妻は岡野町の村山家(貞観園)の生れであり、彼の妹たか女は浦田口の村山家に嫁していたことや、家業の縮買付けなどで当地とは浅からぬ縁があり、また、松茸神社献額の願主二川とは親交があった模様で、冒頭の句以外に三句が献額に選ばれています。

さて、この献額は、寛政十年(一七九八)松茸神社に六五名

の人の句百吟が、三千五百七十句の中から選ばれて奉納されたもので、以来約二〇〇年松茸社

頭を飾って来ました。この百句を選び出した宗匠は、

高田の関漢斎祖明という人であり、献額の願主はさきに触れたように仙田村の二川宗匠。そして、その父山川が樺造の額に染筆し奉納しましたが、当時は現在と違い交通・通信事情の悪い中であって、越後各地から数千数百の集句を行い、かつ、この句を整理し選者に選句願うには少なくとも一回以上の写し替えがあったでしょうが、事務機器もない時代では、すべて筆墨によらざるを得ず、その労苦は想像を絶するものがあったと思われ、財力・能力・人望・統率力ともに優れた人でないとできないことがうなずけます。この点、増田山川・二川父子は、一般から「室島の旦那様」と呼ばれ、これらを全部兼ね備えていたように、この献額の前、天明七年(一七八七)地元室島の諏訪神社に句額を奉納したことがあるベテランです。このような指導者を仰ぐ仙田地区は、同じ妻有の中条地区同様、俳諧文芸がとも盛んだったようです。

『越佐文学散歩』によると、江戸の俳諧文学が十日町地区に浸透したのは天明の頃とありますが、実はそれ以前の明和年代に、千手の吟貞らが行った募句に、すでに三千五百余句が寄せられていた事実があり、妻有・

上田地域にはかなり以前から俳諧文学が浸透していたものと思われ、その影響は目と鼻の間にある松之山郷に波及しない筈はありません。事実、松茸神社の献額の中に、松代の葉仙という人のへ手の筋を前より見せる火鉢かなの句が見えますが、この人が松代の誰であるかは残念ながらさだかではありません。

ちなみに、選出された百句の約半数は妻有地区であり、約三〇%が魚沼地区、あと二〇%は新潟・弥彦・長岡・出雲崎・柏崎・小千谷等の人の句でした。

文化は水に深く関係する、と言われます。

信濃川水系に花開く妻有文化、魚野川水系の上田文化、保倉川、関川水系に育った春日山文化、さらに、直江津・柏崎・出雲崎等に根づいた対馬暖流文化等々が、小千谷とは言え渡海川系の小盆地である当地に、何等かの影響を及ぼさないわけはありません。これら文化のうち、あるものはすでに影も形も残さず消え去り、あるものは吹きだまりのようにこの地に残り、独自の文化を形成しているかも知れません。しかし、このまま放置すれば歴史的過渡期の嵐に、それこそ根こそぎ吹き飛ばされ、かき消されるでしょう。

本稿でとりあげた俳諧文学は、上田歌舞伎・岩戸神楽・天神囃子。また、一説によると「八社五社」の流れを汲む当地盆踊りの「シヨンガイナ」のルーツが「新保広大寺」と「越後口説」が係わって生れたものとも言われるなど、これらはどうやら信濃川・魚野川文化に負うところ大のようであります。

風かぜを逐ふて聲ある枯野かな  
祖明

まる一日降るともあらで花の雨  
二川

美しくなるほど悲し夕紅葉  
山川

古文書に弱く、俳諧知識が皆無の私です。ので、献額の解説は中沢肇・関谷哲郎の両先生に、俳諧事情や俳人たちの情報については、斯界の権威者であり、『小林一茶と越後の俳人』の著者松之山町村山定男先生のご指導とお力添えを賜り、また、『町史こぼれ話』(川西町町史編さん委刊)掲載の須藤重夫氏の論文に啓発され、かつ引用させていただきます。

ここに諸先生に深謝申し上げます。

ここに諸先生に深謝申し上げます。

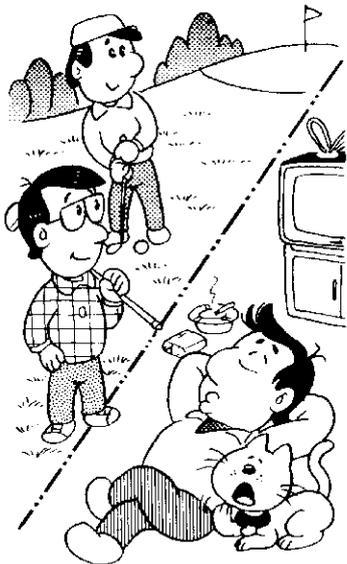
ここに諸先生に深謝申し上げます。

# どう使う18万3250時間

## 余暇こそ人生の 充実時間

ゴールデンウィークが近づいてきました。ところで「余暇」は余った暇と書きます。はたして、何から余った暇なのでしょう。高度成長時代、仕事に第一の価値だつたころ、余暇は仕事をしたあとの「余りもの」だつたようです。ところが最近の余暇時間の増加により、余暇は「余りもの」どころか、ますます重要なものへと変わりつつあるようです。さて、一生のうちにつたいどれくらい余暇時間があるとお思いですか。十五歳から平均寿命(男約74歳、女約80歳)までの余暇時間は、男女平均すると十八万三千二百五十時間といわれています。

仕事の「余りもの」から、重要な時間へと変化する余暇時間——そこで、皆さんは余暇をどのようにとらえ、どのような使い方をしているのかを見てみましょう。



## ゴロ寝から活動的な利用へ

変化する余暇活動

### データ

日本人の暮らし方に関する価値観をみると「趣味にあつた暮らし」、「のんきに暮らす」と答えた人の合計が五〇%を超えた。また、「今後の生活の力点をどこにおくか」という質問に対して、「レジャー・余暇生活」をあげる人が徐々に増えている。昭和五十三年に「食生活」を上回り、五十八年にはそれまで一位の座を守り続けていた「住生活」をも抜きトップにおどり出た。

〔資料〕文部省統計数理研究所「日本人の国民性」昭和五十九年十一月、総理府「国民生活に関する世論調査」昭和六十年五月

余暇は日常生活の中で、一番力を入れる分野となつたわけですが、はたしてどのような使われ方の変化をしているのでしょうか。

最近の余暇時間の過ごし方は、昭和三十年代にいわれた「一億総レジャー時代」とは趣きが変わってきています。画一的な余暇活動から自分の趣味や趣向に合ったことをする、個性的な活

動をする人が増えたといえるでしょう。年代別に大勢を占めていた余暇時間の使い方と変化を見てみましょう。

### 40年代 休息・ストレス解消型 「ゴロ寝」でテレビを見る

休日には、「ゴロ寝してテレビを見るのが最高」——このように考え行動するのが休息・ストレス解消型です。

仕事が生生活の中心で、余暇時間に仕事の疲れをいやし、ストレスを解消させるのを目的としているタイプです。

昭和四十年代には百人のうち七十八人がこのような余暇時間を過ごしていました。しかし、五十七年には四十五人へと減ってきています。

### 50年代 生活向上・自己投資型 積極的な利用が増える

余暇時間を仕事と完全に切り離し、自由に使おうとするタイプ。使い方は、ジョギングや体操などで健康増進を図ったり、

日曜大工、手芸などで趣味の幅を広げていきます。〇〇のために使う」というように、余暇を有効に利用しようという意識を持っていきます。五十年代前半の代表的な余暇時間の利用のしかたで、現在もさかんです。

### 50年代後半 楽しみ追求型 サーブスを望む

五十年代も後半になると、健康増進にしても、ランニングパンツ一枚でできるジョギングではなく、スポーツ教室に通い、より充実した余暇を過ごすタイプが増えてきました。また、休日には家族全員でレストランなどに行き、家庭では味わえない専門店のお味を楽しむといったタイプも、楽しみ追求型に含まれます。

レジャーを楽しむ、余暇時間を有効に使う生活向上型・自己投資型や楽しみ追求型は昭和五十年以降増えはじめ、昭和四十五年には「レジャーを楽しむ」と答えた人は百人のうち十五人だったのに、五十七年には二・四倍の三十六人になっています。余暇が生生活の中心となり、使いたい方も、休息志向からそれぞれの人々が個性的、積極的に使っているのがよく分かります。

余暇の状況

多いけいこごとと 曜日を問わず

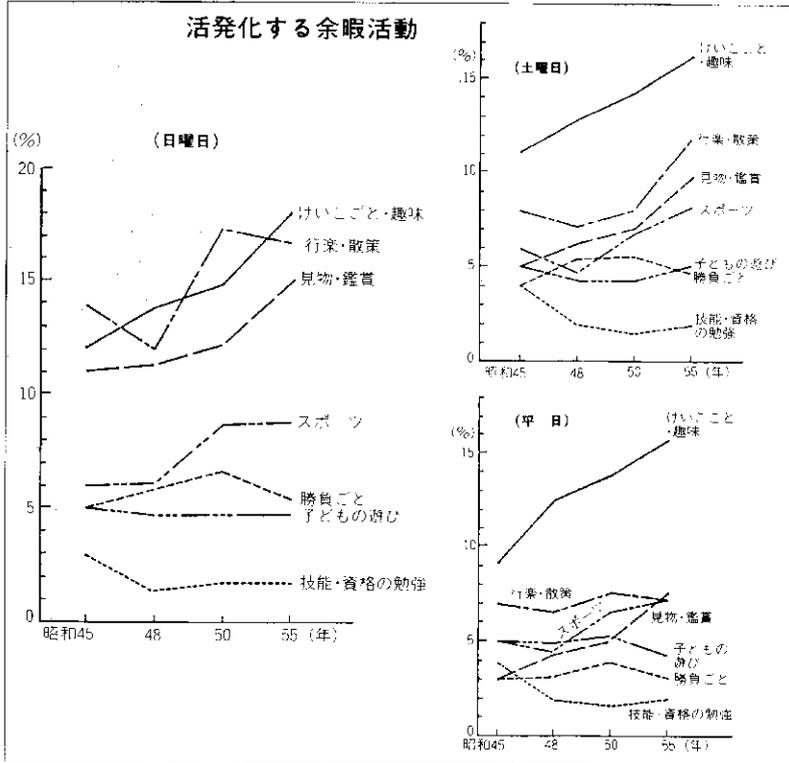
積極的に余暇時間を活用している人が増えているわけですが、実際どのような活動をしているのでしょうか。

曜日別、行動別に見てみましょう。

一番目立つのは、曜日を問わず「けいこごと・趣味」が多くなっています。これは、それぞれの人々の関心が多様化してい

るのを反映しているのではないのでしょうか。

また、平日は少ない行楽や散歩がまとまった余暇時間のある土曜、日曜に多くなるのも当然の結果でしょう。



あなたの持っている知恵や経験を余暇時間に生かす——地域社会での活動に参加するのも、余暇時間を有効に使う方法のひとつでしょう。

地域社会での活動というと、なんだか難しいもののように思いますが、あまり堅苦しく考えないでください。

もし、あなたが若いころ野球をやっていたとします。その知

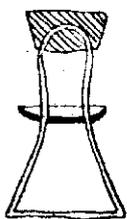
識を近所の子供に教えてあげるのも、立派な地域社会活動でしょう。また、自分の住んでいるまちをきれいにするために、空き缶を拾ったり、花や樹木を植えるなどの活動を行っている団体に参加するのも地域社会活動です。

余暇時間を地域社会での活動に利用すると、次のような利点があります。

あなたの経験と知恵を生かそう

地域社会活動と余暇

- ▽親しく付き合える人を得ることができる
- ▽自由時間を有意義に過ごすことができる
- ▽周囲の人との共通の話題がで
- ▽生活に充実感がでる
- ▽社会への見方が広まる
- ▽充実した余暇時間を過ごすために、地域社会活動に参加することを考えてみてはいかがでしょうか。



一生のうち 約21年間は無事に使える



「一生のうち21年間、自由に時間を使えます」といわれたらあなたは どうしますか。

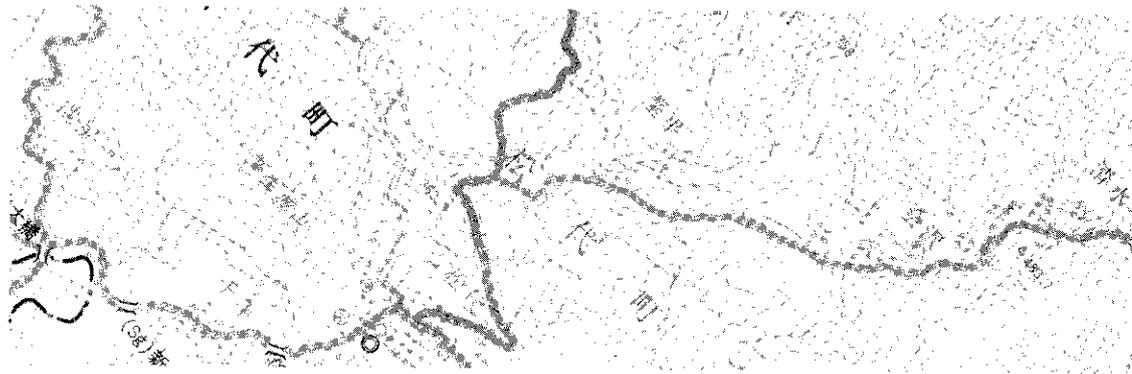
「いや、そんなにいら ない」といいますか。 それとも「それだけし かないのか?」と思っ ますか。

実は、この21年間(約183,250時間)というのは、15歳から平均寿命までの男女の自由時間の平均です(経済企画庁試算)。ここでいう自由時間とは、1日の時間の中から①睡眠、食事、身のまわりの用事などの「生活必需時間」、②仕事、学業、家事、通勤などに使われる「拘束時間」を引いた残りの時間のことです。つまり、個人が自由に使える「余暇時間」ということです。

はたして、この約21年間の余暇時間というのは多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

もう少し、細かく1年当たりの余暇時間で見てもみましょう。すると、365日のうち、自由に使えるのは約110日間になります。睡眠時間などの生活必需時間を抜いた時間ですから、やはり多いといえるのではないのでしょうか。

部落紹介シリーズ ③⑤  
蓬平部落紹介 (紹介者 若井 俊二氏)



蓬平部落は、松代本町より三・五キロほど離れている。県道松代・高柳線の堀割(三叉路)から、県道松代、岡野町線(通称 峯方線)を、桐山行のバスで蓬平入口の停留所より西北に、町道越背線ぞいに北西向きの傾斜地に六七戸が転在している集落である。

中心地に町立蓬平小学校があります。下り勾配の道を辿って行くと越背で、県道松代、高柳線に合流し、昨年、境界変更のあった田代部落を経て、高柳町、柏崎市へ通じています。

古文書によれば年代不詳であるが、甚兵衛及び源八と甚兵衛の第子与兵衛、源八の名子作左工門の家三軒と名子一軒が宮下に居住していたところへ、元和八年小井菅に住んでいた、甚兵衛の名子大平次、宗藏、仙納村より移住した名子善四郎の三名が宮下に来て、家三軒名子四軒となり住んでいたときに宮下(旧居村||部落と越背の間)で地すべりがあり、現住地を居村と見立てたのが寛永四年で、翌寛

永五年現在地へ移転したと記されており、寛永七年では家敷一四軒(家一〇軒名子四軒)となっており延宝八年(一、六八〇年)覚では蓬平村々勢は、録高一六石二斗二升二合で、家敷七軒名子五軒で人口五二人(男三一人女二人)馬三足と記され

ている。

天和三年の御検地を受けた名前は、三左エ門、孫左エ門、久左エ門、九兵衛、九左エ門、三郎左エ門、次郎左エ門、清左エ門の八名で(名子は財産を持っていなく検地は受けなかった) 検地の対象は家敷、田、畑、



芝峠付近より蓬平部落望む

切替畑、青芋畑、添立木らしく村中で田一町二反三畝、畑二町八反八畝一〇歩、切替畑四町九反一三歩、青芋畑五反八畝十一歩、添木九九本とある。今より三〇三年位前の頃と思います。以後開発が進み明治維新前の嘉永七年には、村勢が六五戸であったことを古文書で知ることができる。

城山のことについては詳しいことは知ることができなかったが、越後の国高田春日山城主上杉謙信公の命で、長峯城主牧野馬之助様が長い間仮住まいしていたらしく、牧野様が使っていたと思われる物を清蔵と申す者安永二年、名所馬屋久保で茶釜を掘り出し、松代の関谷方に売却したことが記されている。

お宮のことについては、氏神松学大権現様一件之事では只今之居村より下に名所宮下ト申す所二居村有之、其の時八是迄有来之古宮地之五十間天和三年之御検地之節御除地二御座候得共是は、古宮ト相成り尤居村此処登申二付キ元録二己年代神様屋敷毛新き此処江屋敷替被遊申候事と記されており、本尊様のことについては、年代不詳で刈羽郡礎信村(現在地不明)鎮守様であるようなことが記されているのみで詳しいことは不明である。

る。古い伝説を辿ってもしかたないので現在の状況について述べてみます。

昭和三〇年代以前は部落内の道幅は七尺(二、一二m)位の廻りくねった勾配の多い部落道で牛馬で物を運んでいたが、三



蓬平部落より蓬平城山を望む

〇年代中旬頃より、町道越菅線として町当局のご配慮で道路改良工事が完了し部落の終点までは、自動車能通过の道となったが越菅線の終点である、県道松代高柳線の越菅までの約一五〇〇mの間が自動車の通り抜けがでない不便さがあったので、昭和五二年度に農免道路として県単事業で幅員五mの道路に改良舗装を始め五五年度までの四年の歳月を経て工事が終了し、大型車も通り抜けられるようになり、部落内の交通量も多くなりました。

昭和三三年当時分校を改築した際、旧校舎材を利用して稚蚕飼食所として建築した建物も、集会所として有意義に使用していました。が、五三年の集中豪雨で土砂崩が発生し押しつぶされ、五四年現在の集落開発センターを事業費一、四八四万二千円で建設、各種集会、研修等に利用しております。

先生、生徒一体となり学業に励んでおります。また、部落の人達の寄りどころとして教育、文化、スポーツの中心であり、部落運動会、スキー大会を毎年行い親睦の場所ともなっております。

青年会主催の盆踊り大会、九月二四日の秋祭りには、婦人会との協賛による演芸大会を盛大にやっております。近隣の部落からも大勢見物人が集まり、部落に活力を与えています。

蓬平部落も米を生産する農家がほとんどですが、副業として畜産と養蚕を盛んにやっていますが、年々減少し牛を飼っているのは一二軒位で、養蚕農家も七軒ほどとなり、他の大部分は冬期間の出稼収入で生計を得ております。

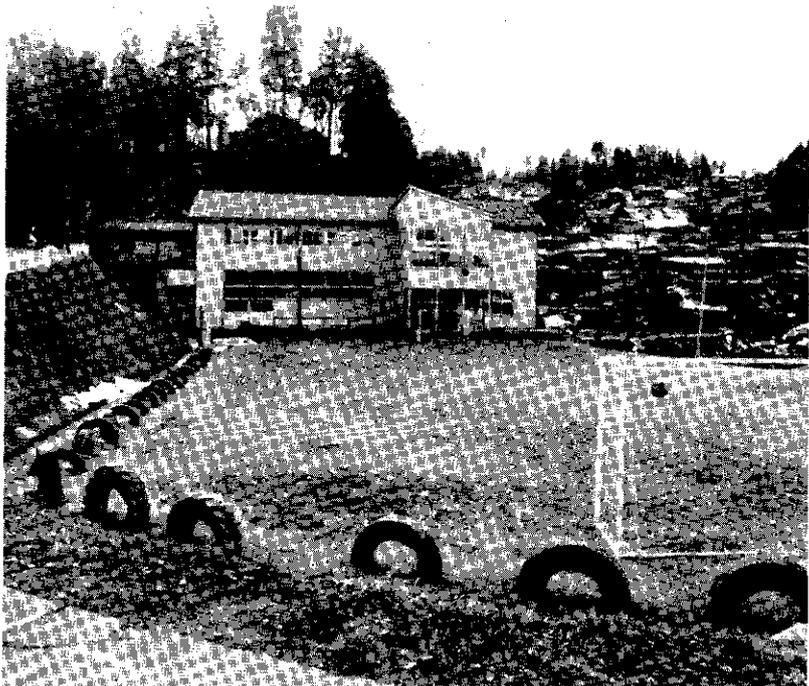
高度成長以後は、中学校の学卒はほとんど町外に就職し、若い人が年々少なくなり嫁不足がつづき、また、老令人口の増加など深刻な問題となっています。

部落では何とかして『活力ある蓬平を』と秋十一月一日には収穫祭をやり、農産物の品評会、生徒達による学習発表会、展示会、もちつき実行委員会によるもちつき大会など盛大な催物が展開されます。

最近では部落に残って頑張っ

ている若い人達数人が、ふるさとおこし、部落の活性化をめざして『何をすべきか、実行するにはどのようにしたら良いか』話し合いがされている。私達は成功することに期待をよせ、その成り行きを見守り、協力することがあれば、応援してやりたいと考えております。

県道松代高柳線の無雪化が近めば、十日町市、柏崎市、上越市へと通勤圏の拡大が図られ、兼業農家として出稼をしなくて



も十分生活が安定するものと考えられます。

地域住民期待の北越北線の完成は昭和六六年と聞いております。都会と農村の交流に期待をかけたかと思えます。

蓬平部落は推測で四五〇年位前にでき、この雪深き山間地によって雪に打ち克つてきました。長い間続いてきた部落を守り発展することを願望して部落の紹介を終わります。



よろしくお願ひします



松代幹部派出所  
調査部長

松 永 洸

- 出身地 三島郡和島村
- 前任地 上越南署
- 趣味 釣り、バードウォッチング

# 小・中学校 教職員異動

## ▼新しく

来られた先生

(管理職) 校長・教頭

- ◎松代小学校教頭
- ◎柳沢晃英(上越市大町小)
- ◎清水小学校長
- ◎国松陽伍(長岡市豊田小)
- ◎北山小学校長
- ◎阿部俊夫(小千谷市教育委員会)
- ◎北山小学校教頭
- ◎丸山一郎(柏崎市第一中)
- ◎助平小学校長
- ◎柳沢正喜(上越市大町小)
- ◎蓬平小学校長
- ◎市村幸雄(柿崎町上中山小)

## (一般職) 教諭

- ◎松代小学校
- ◎本柳貞子(松之山町三省小)
- ◎江口哲夫(上越市飯小)
- ◎小林良衛(柏崎市新道小)
- ◎松代小学校菅刈分校
- ◎片桐忠雄(糸魚川市下早川小)
- ◎松代小学校下山分校
- ◎本山泰子(長岡市黒条小)
- ◎清水小学校
- ◎小柳敦子(広神村西小)
- ◎孟地小学校
- ◎小池 洋(上越市春日新田小)
- ◎吉田新次(柏崎市鯖石小)
- ◎長谷川弥生(新採用)

## ▼勤務する学校が

変わった先生

- ◎松代小学校菅刈分校
- ◎古島トシ子(孟地小)
- ◎助平小学校
- ◎佐藤喜和治(清水小)
- (よろしくお願ひします)
- ▼町外に  
転出された先生
- ◎松代小学校
- ◎石塚美和子(松之山町松里小)
- ◎羽深洋子(上越市高士小)
- ◎阿部和雄(柏崎市柏崎小)
- ◎松代小学校菅刈分校
- ◎山崎太一郎(見附市見附小)

- ◎孟地小学校滝沢分校
- ◎関沢佐恵子(川西町千年小)
- ◎北山小学校
- ◎関 真理子(三条市保内小)
- ◎相沢節子(塩沢町中之島小)
- ◎蒲生小学校
- ◎津幡龍峰(松之山町松之山小)
- ◎蒲生小学校寺田分校
- ◎池田千文(松之山町浦田小)
- ◎蓬平小学校
- ◎田中武彦(長岡市上川西小)
- ◎松代中学校
- ◎高沢房吉(十日町市南中)
- ◎広瀬利勝(新井市新井中)
- ◎下越克男(糸魚川市第二)
- ◎涌井幸夫(上越市城北中)
- ◎富永一郎(六日町城内中)

- ◎齊藤充代(松之山町三省小)
- ◎松代小学校下山分校
- ◎小原秀子(中之島村信条小)
- ◎清水小学校
- ◎中嶋正好(新井市吉木小)
- ◎小幡和子(六日町西五十沢小)
- ◎上村 勤(六日町六日町小)
- ◎伊藤芳美(上越市中ノ俣小)
- ◎孟地小学校
- ◎尾身春吉(川西町橘小)
- ◎中村義郎(新潟市五十嵐小)
- ◎孟地小学校海老分校
- ◎佐藤 茂(六日町北辰小)
- ◎孟地小学校滝沢分校
- ◎関原英子(上越市高田養護)
- ◎北山小学校
- ◎市川伸一(見附市教育委員会)
- ◎南雲昭治(中里村倉俣小)
- ◎中村真寿美(柏崎市半田小)
- ◎山崎久美子(三条市一ノ木戸小)
- ◎蒲生小学校寺田分校
- ◎藤井康子(上越市大町小)
- ◎奴奈川小学校
- ◎山本篤子(川西町橘小)
- ◎助平小学校
- ◎水野文俊(中越教育事務所)
- ◎大熊一郎(川西町千手小)
- ◎蓬平小学校
- ◎白石孝一(妙高村妙高中)
- ◎森 龍憲(新潟市赤塚小)
- ◎松代中学校
- ◎宮沢正翁(十日町市吉田中)
- ◎丸山敏治(上越市八千浦中)
- ◎菅原邦宏(上越市直江津中)

## 松代高等学校

### ▼新しく

来られた先生

〈教頭〉

丸山承一(新潟高校) 数学

〈教諭〉

小湊知見(新採用) 数学

近藤 亘( ) 英語

〈講師〉

山岸 統(新採用) 美術

相沢栄一( ) 農業

小林英子( ) 音楽

### ▼転出された先生

村井利博(県立栃尾高校校長)

大関浩二(県立中条高校)

山神伸人(県立新潟向陽高校)

齊藤修二(県立高田高校)

南雲 充(県立小千谷高校)

内野信昭(県立与板高校)

坂本裕克(県立盛岡農業高校)

### ▼退職された先生

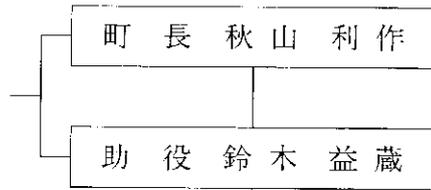
◎松代小学校

若井 博

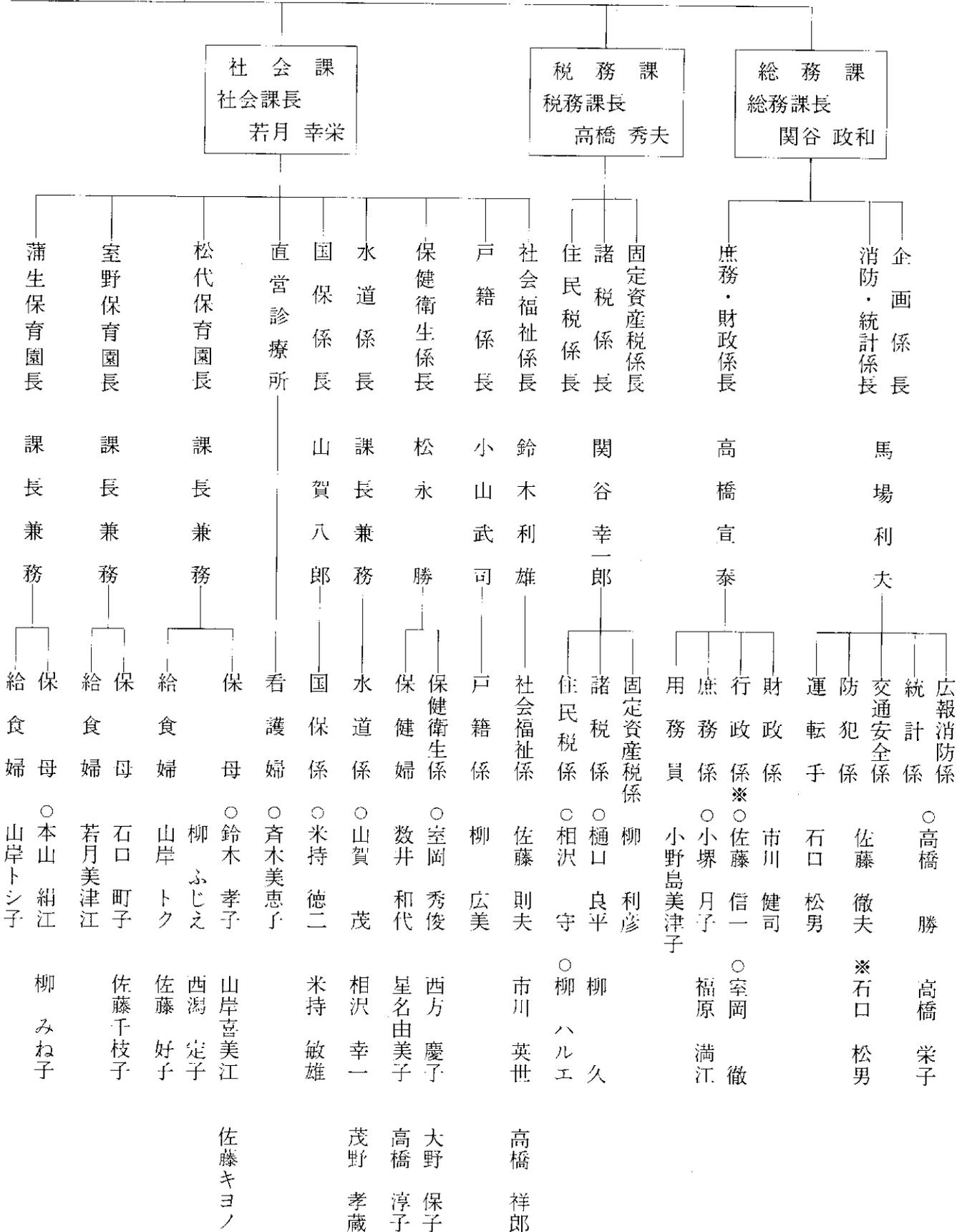
◎蒲生小学校

美濃和 英

(ご苦労さまでした)



4月1日から次のような担当に変わりました。職員一同はりきっていますので、これからもみなさんのご支援ご協力をお願いします。





# 二十歳になった 交通安全全宣言町

昭和四十一年七月三十日、松代町は全町民の名のもとに「交通安全全町」を宣言しました。

以来、松代町における交通事故をなくするために、全町民あげてご協力いただいできました。

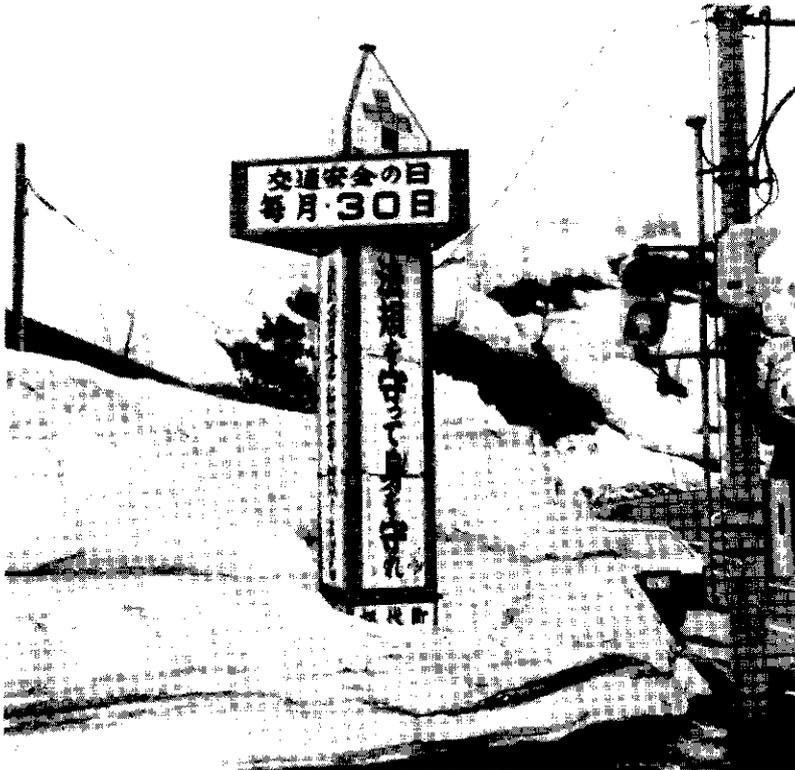
高速交通体系に仲間入りした松代町も、昨今の交通事情の

変化は目を見張るものがあります。

今、松代町は交通安全を宣言して二十年たちます。

明日を拓く、自然と人のふれあいの町

松代町から交通事故を完全になくしましょう。



交通安全シンボルマーク

松代町を  
アピールする  
交通安全広告塔に  
あなたのアイデアを!

◎外形のデザイン

広告塔の外形をデザインして下さい。

- 最大幅1m、高さは地面から6mくらいの大きさで、鉄骨、着色鋼板を使用。優秀作品をもとに町で設計いたします。

◎標語の部

広告塔の表面に太文字で描きます。

- 松代町を紹介するもの
- 交通安全に関連したもの
- いずれも未発表のものに限ります。

池尻交差点が

生まれ変わります

▼応募方法

◎デザインの部

- B4判サイズ(36・4cm×25・7cm)の用紙に、側面図と立面図を作図して下さい。

- 県交通安全シンボルマークを各面に入れて下さい。

◎標語の部

官製ハガキに二点まで書いて下さい。

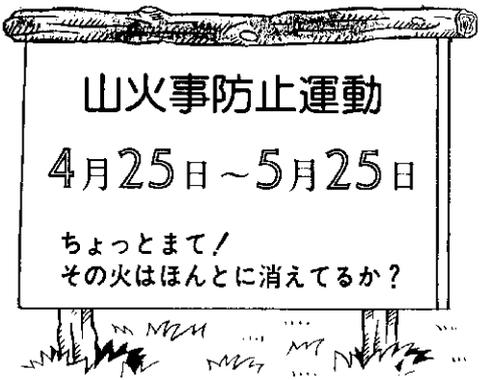
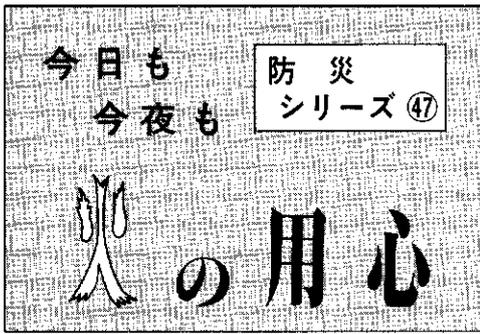
▼送り先

住所・氏名・年齢を明記し、松代町役場総務課宛送付して下さい。

▼締切日  
昭和61年5月20日(火)  
当日消印有効

▼賞  
採用された作品には記念品を贈ります。

「気をつけて」朝のひと言  
忘れずに



全国の出火状況を四季別にみると、春には冬と同じくらい火事が多く発生しています。

冬に火事が多いのは、寒いので火を使う機会が多いからですが、湿度が低いことも大きな原因です。

湿度は火事と深い関係があります。湿度が90～100%になると火事が少なくなり、30～40%以下になると火事がふえるといわれています。湿度が特に低いときには、異常乾燥注意報が出されます。こんなときは火事になりやすくなっていますから、火の扱いに注意しましょう。  
 ※たき火をする時は後始末を完全に!  
 ※たばこの吸いがらは必ず消しましょう。  
 ※車からたばこの吸いがらを投げ捨てないように!  
 ※強風又は乾燥時及び枯れ草等のある危険な場所では、マッチの使用やたき火はつとめてさげましょう。  
 ※火入れする時は消防署に届出しましょう。



- 井上クラ 83歳 寺田 和泉屋
- 菅井徳十郎 80歳 芋島 大原
- 高橋セン 87歳 千年 大橋屋
- 小堺クニ 88歳 蓬平 助次郎
- 西潟信明 42歳 福島 うしろ
- 77歳 蓬平 鍛治
- 若井政市

ご冥福を祈ります(死亡)

- 小堺加奈恵 父繁憲 母輝子 (三女・儀明・長之助)
- 柳 美保 父幸伸 母敏子 (長女・松代・緑屋)
- 櫻澤あゆみ 父正一 母京子 (長女・松代・釜田住宅)
- 関谷智美 父馨 母千秋 (長女・松代・前田屋)
- 平澤昂也 父建一 母志恵子 (長男・松代・忠海屋)
- 米持俊輔 父敏雄 母とよ子 (長男・室野・中三王)
- 池田 隼 父一三 母千文 (二男・田野倉・最の上)

戸籍の窓口

三月受付分

げんきなよい子に(誕生)

ジャン JANコード  
 何がどれだけ売れたかを 把握するシマ模様  
 食品や日用雑貨品を買うと、シマ模様のラベルが付いていることがありますがお気付きですか。これは「どの商品が売れたか」をチェックするために付けられたコードで、その仕組みは国際間で取り決められているものです。

二種類ある JANコード

日本の商品に付いているコードは、JAN (Japanese Article Number) コードと呼ばれます。このJANコードは、POS

(ポイント・オブ・セールス) 販売時点情報管理) システムを採用している店で売上管理などに利用しています。POSシステムを採用している店では、光学式自動読み取り方式のレジスターでJANコードを読み取ってコンピュータに送り、販売時点で、何がいくつ売れたかを正確、迅速に把握しています。

ところで、商品についているJANコードは、大きく二つに分けられます。一つはメーカーや発売元でラベルや包装材料に印刷される「ソースマーキング」。

もう一つは小売店などでラベルを印刷して商品にはりつける、「インスタアマーキング」です。ソースマーキングは「どの国の、どの商品メーカーの、どの商品か」を表示するもので、太さの違う縦線(バー)が異なる間隔で並んでシマ模様のようになっており、その下に十三けた(標準タイプ)か、八けた(短縮タイプ)の数字が並んでいます。バーはいろいろな組み合わせで下の数字と同じことを表示しています。このJANコードは財団法人流通システム開発センター内の流通コードセンターに申請、登録され管理されています。

<標準タイプ>

国コード	商品メーカーコード	商品アイテムコード	チェック・デジット
(4)	(9)	(12)	(4)

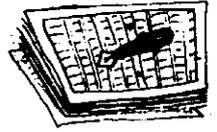
<短縮タイプ>

(4)	(5)	(4)
-----	-----	-----

(注) (4)の番号は、ベルギーの管理本部で、(9)は各国のコードセンター等で管理している。

文

ま



短歌 山鳩の声

野石 ロマン

雪晴れの木々の梢を崩れ落つ雪の影さえ雪面に映る

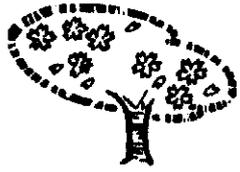
シベリヤの寒気速のく雨音に雪の苦悩の空しさ覚ゆ

ガラス破片散らばるとき今朝の雪踏めば寒気の鼻孔にしみる

隣国の大統領の政変劇他所事ならず一か月過ぐ

ざわめける世情も風に似たるかなこだわりもなく季節は巡る

日覚むれば遠く山鳩鳴く声にまた目を閉じて聞く朝の床



しづみ句会

大水柱育てて藁屋二百年  
天窓に雪の山あり十三夜

公明

標のひもの凍てしをまた履きて  
雛の日のきらめく雪を踏みにけり  
茶吞客また一人来て春隣  
街灯の光届かぬ雪の嵩

紅茶

四米越したる深雪二月尽  
やむことを知らぬ深雪の村に住む  
作業衣を脱いで句会へ雪の道  
人形を飾る双児の雛並び

立石

就職の決まりし娘雛飾る  
連れ立ちて佛詣や沓え返る  
窓あいて雪解雫や縁の内  
湯に入りて明るさ残る春となる

八千代

ものの芽の雪の下にも育ちおり  
新佛彼岸詣りも雪の下  
雛段を飾りて祝う老夫婦  
雪崩あと土の香りのなつかしき

美人

ひと雨に霞かかりて春匂う  
雪割って土黒々と露の臺

しげ女

珍しき櫓火に手をもみ座りけり  
退院す雪解の道に手を引かれ

悠歩

陽を受けて氷柱根元より落ちぬ  
湖西線湖北に至り雪となる

淡水

紅白の梅を咲かせて小商  
さお立てて電線吊るす雪峠

六花

蒲生句会

嶺々に日の差して熄む彼岸雪  
雪間より雪間へ跳びし野兎の跡

耕山

雪割れば壁の高さの二十尺  
煮メ煮て彼岸に入れる婆の顔

折人

客増して氷柱太れる湯宿かな  
風花の西より来れば荒るとか

在妙高 月 日

雪切間に強き日射しや土匂う  
卒業の吾子の背中のたくましき

爽風

ほぐれ初む紅筆の如チユーリッ  
健やかな娘の筆伊予柑の荷が届く

ふさ女

汗ばみて脱げばまた降る彼岸雪  
片目してまぶしく見上げる彼岸

耕人

晴れ  
春雷や堀一筋の柳かな  
千葉港の蘇鉄解かれて八方に

在千葉 鐵堂

園芸一口メモ

松代園芸愛好会

花物盆栽について

花物盆栽は、ほかの盆栽とちがって、花の美しさを鑑賞のおもな対象とします。

「花のいのちは短くて……」

とよく申しますが、この花物盆栽は、松柏類にくらべてはもちろんのこと、葉物や実物と比較しても、これを鑑賞する期間が短いことはいなめません。しかし年に一度、ふだんは地味な姿の樹が、あるいは可憐な、あるいは艶麗な花の装いをとりどりにこらして私達の目を楽しませ

てくれるこの盆栽には、自然のせつりというものを強く感じさせてくれる、ほかの盆栽にないすばらしい魅力があります。

若物盆栽も盆栽である以上、その樹形や根張りなどの美しさも大切で、これらも花とならんで重要なポイントとなります。

また花物といっても、例えばサツキのなかまには紅葉の美しい品種や、あるいはツバキのように紅葉が美しく、葉も鑑賞の対象となるものがあります。いずれにしても、それぞれの樹種に応じてのおおの樹の良さを十分に表現することが、この種の盆栽のキャンどころといえます。

